

わたしはだれでしょう

小学校・2年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「コミュニケーション能力」）

＝【人権感覚育成のための視点】

肯定的な関わり方による相手との良好なコミュニケーション能力を育成し、互いの意見や気持ちを適切かつ豊かに伝え合い、分かり合うことができるようにする。

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ よりよい人間関係の形成）

3 人権教育上の視点

- （1）互いに伝え合い、分かり合うために、コミュニケーションを深める姿勢を身に付けることができる。（価値・態度）
- （2）相手の気持ちを考えながら聞き、自分の思いや考えを適切に伝えることができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

不特定多数の友達とじゃんけんをしながら、互いに自己紹介をする。

○活動2

グループで自己紹介をする。グループの友達のよいところやすごいと思うところ等についての伝え合いをもとに、学級全体へ肯定的な話し方で他己紹介をする。聞いている児童は、紹介されている人が誰なのかを想像して答える。活動を振り返り、感じたことや思ったことの見聞交流をする。

2 準備するもの

- 自己紹介カード
- 他己紹介カード
- 振り返りシート

3 アクティビティの進め方

○活動1 「紹介じゃんけん」

- ① スタートの合図とともに、一定時間歩き回って相手を探し、握手をする。
- ② じゃんけんをして、勝った人は、負けた人に自分のことについて一つ紹介する。
- ③ じゃんけんに負けた人は、紹介されたことを認めたり褒めたりしながら聞く。
- ④ 終了の合図があるまで、できるだけたくさんの人とじゃんけんをする。

○活動2 「わたしはだれでしょう」

- ① 生活班等を活用し、5～6人程度のグループを作る。
- ② グループ内で、自己紹介をする。
 - ・聞き手は、認めたり褒めたり拍手をしたりするなど、必ず肯定的な聞き方で聞くようにする。
- ③ 自己紹介した人のよいところやすごいと思うところ等を他己紹介カードに記入する。
- ④ 他己紹介カードに記入したことを1人ずつ発表しながら伝え合う。
- ⑤ グループの友達について、他己紹介カードに記入したことをもとに、学級全体に肯定的な話し方で他己紹介をする。ただし、名前は知らせない。
- ⑥ 聞いている他グループは、紹介されている人が誰なのか想像しながら聞き、どうしてその人だと思ったのか理由を挙げ答える。正解したら、みんなで認め合い、拍手をする。
- ⑦ 他己紹介を繰り返し行う。
- ⑧ 今日の学習を振り返り、感じたことや思ったことの意味交流をする。

4 アクティビティを指導する際のポイント

- 肯定的な聞き方をすると、よりよい人間関係づくりにつながることをおさえて指導することが大切である。

- 朝や帰りの会等で、友達のよいところを見つけて紹介する活動をしていくとよい。その際、見付けてもらったよいところの数に差が出ないように配慮をする。
- 事後指導として、友達のよさを見付け、積極的に伝え合える具体的な目標を決め、継続して取り組み、目標が達成できるようにするとより効果的である。
- 友達のことがある程度分かってくる2学期以降に実施すると効果的である。

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	<p>1 「紹介じゃんけん」</p> <p>T これから、できるだけたくさんの友達と自己紹介をします。まず握手をして、じゃんけんをします。勝った人は自分のことを一つ紹介しましょう。負けた人はうなずいたり褒めたりしながら聞きましょう。</p> <p>T クラスの友達のことについて新しく知ったことはありましたか。今日はクラスの友達のことをもっとよく知るための学習をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールの説明を簡潔に行う。 ◎ 自分の思いや考えを適切に伝えることができるように、事前に書いておいた自己紹介カードを持って行わせる。また、友達の自己紹介を聞くときは、相手の目を見て、うなずいたり、褒めたりしながら聞くように伝える。(技能) ・ 終了の合図まで、できるだけ多くの友達と行わせる。 ・ 「紹介じゃんけん」を振り返り、本日の学習への意欲をもたせる。
30分	<p>2 「わたしはだれでしょう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 自分や友だちのよいところをたくさんはっけんしよう </div> <p>T まず、グループの中で自己紹介をします。聞く人は、「いいね」「すごいね」など、褒めたりうなずいたり拍手をしたりしながら聞きましょう。</p> <p>T 次に、自己紹介した友達のよいところやすごいなと思うことを「友だちのよいところはっけんカード」に書き、発表して伝えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 教師が範を示し、聞き手が必ず肯定的な聞き方で聞くようにさせることで、相手の気持ちを考えながら聞くことができるようにする。(技能) ・ 「自己紹介→記入→伝える」という流れで、1人ずつ順番に行わせる。 ・ よいところやすごいと思うところについては、普段の生活の中から

	<p>C ○○さんは、友達が困っているときに、いつも手伝ってあげていて優しいと思う。</p> <p>C ○○さんは、いつも楽しい絵を描いて、みんなを楽しませてくれているのがすごいと思う。</p> <p>C ○○さんは、いつでも姿勢がよくてカッコいい。</p> <p>C ○○さんは、人の話をよく聞いているところがすてきだ。</p> <p>C ○○さんは、いつも笑顔で話してくれるのでうれしい。</p> <p>T 次に、「わたしはだれでしょうクイズ」をします。グループの友達のよいところやすごいと思うところを、そのよさやすごさがわかるようにクラスみんなに伝えましょう。</p> <p>T 聞く人は、誰のことを言っているのか予想しながら聞き、分かったら理由もつけて答えましょう。</p> <p>C ○○さんだと思う。理由は、いつも優しく声をかけてくれるから。</p> <p>C いつも一生懸命そうじをしているので、○○さんだと思う。</p>	<p>でも、自己紹介の中からもよいことを伝える。</p> <p>《例》 「係や当番の仕事を頑張っている」 「みんなと仲よく遊んでいる」 「なわとびが上手」 「いつもたくさん発表している」 「字がすごくていねい」 「転んだときに、大丈夫と言って保健室まで一緒に行ってくれた」</p> <p>・正解したら、クラスみんなで認め合い、拍手をさせる。</p> <p>◎肯定的な聞き方ができている児童を具体的に称賛することで、互いに意欲的に伝え合い、肯定的に分かり合えるようにする。 (価値・態度)</p>
<p>10分</p>	<p>3 振り返り</p> <p>T 今日の学習を振り返り、思ったことや分かったことを書きましょう。</p> <p>T 思ったことや分かったことを発表しましょう。</p> <p>C 相手のことを考えながら聞くと、相手のことがよく分かった。</p> <p>C 自分や友達のよいところがたくさん分かってよかった。</p>	<p>・振り返りシートに記入したことをもとに感想を発表し、学級内で考えを交流させる。</p>

IV 資料

(1) 自己紹介カード

じこしょうかいカード 名前 _____	
すきなこと	すきなもの
とくいなこと	おてつだいでしていること
がんばっていること	2年生になって1ばんうれしかったこと

(2) 他己紹介カード

<h2 style="margin: 0;">友だちのよいところはっけんカード</h2>	
名前 _____	
()さんの よいところ・すごいと思うところ	()さんの よいところ・すごいと思うところ
()さんの よいところ・すごいと思うところ	()さんの よいところ・すごいと思うところ

(3) 振り返りシート

ふりかえりカード

名前 _____

○今日の学しゅうをふりかえって書きましょう。

①友だちのことをよく知るために、あい手の気もちを考えながら、進んで話を聞けましたか。あてはまるものに○をつけましょう。

よくできた だいたいできた 少しできた あまりできなかった

②今日の学しゅうをふりかえり、思ったことやわかったことを書きましょう。